

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## VOLARE...

Quant' è brutto vivere solo di ricordi di cose passate ! È il difetto delle persone anziane e, per quanto odioso, forse anche un mio difetto. A che punto si trova l' Italia? Una volta tutto sembrava un sogno, ma adesso molti sembrano stufi di sognare ad occhi aperti, come si suol dire. Tutti dicevano di avere un sogno nel cassetto. Oggi, chi apre questo cassetto trova solo sogni ammuffiti. L' Italia, I suoi giovani vivono momenti in cui sognare sta diventando proibito. Eppure l' Italia è, e resterà sempre un posto ideale per volare, per provare emozioni nuove, per inventare e creare sogni. La scena politica italiana sta vivendo momenti drammatici. Lo so che All' estero molti sono perplessi, ma abbiate fiducia... sicuramente qualche cosa di innovativo sta bollendo nella pentola tra tanta confusione. Leggevo giorni fa su Sapio, una rivista giapponese di gennaio, che un bravo professore invitava i giapponesi ad essere più litigiosi. Devo ammettere che La cosa mi ha leggermente intristito. Io Per me che sono nato durante la grande guerra, che ho avuto la bella fortuna di non aver visto la guerra e di essere vissuto senza grandi guerre, e leggere che ci sono professori che istigano al litigio, mi rende molto triste. Non è certamente facile volare Con questi sentimenti e i pochi sogni rimasti sono sicuramente irrealizzabili. A Roma c' è un Papa nuovo. Forse la forza di un Papa sta anche nel dono delle lingue. Per portare la pace tra i popoli, il dono delle lingue è molto importante. La pace è un sogno, ma sta a noi che studiamo le lingue realizzare questo sogno. Avete mai pensato che lo scopo di una lingua è quello di realizzare l' armonia, la pace tra i popoli? Volete continuare a volare? Allora Lo studio di una lingua, lo studio della lingua italiana, permette di volare

con il pensiero e di non lasciarsi prendere da sentimenti bellicosi.

舞野ばれあり(イタリア語検定協会理事)

## 飛翔せよ...

過ぎさったことの追憶のみに生きることほどいやなものはない。それは老人の欠点であり、また厭わしいことではあるが、おそらく私の欠点でもある。イタリアは今どんな状態にあるだろうか？ かつては、すべてが夢のようだった。しかし今は、よく言われるように、多くの人々が白昼夢を見るのに飽き飽きしているようだ。引き出しの中には夢があると誰もが言っていたのに、今では引き出しを開けると見つかるのはかびの生えた夢だけだ。イタリアは、イタリアの若者は、夢見ることが禁じられつつある時代に生きている。それでもなおイタリアは、飛翔し、新たな感動を覚え、夢を創造するのに理想的な場所であり、これからもそうであるだろう。イタリアの政界は悲劇的な状況にある。国外でも、多くの人々が当惑していることを私は知っている。でも、信じて欲しい...きっと、混沌の鍋のなかで、何か革新的なものが沸々と生まれようとしているのだ。何日か前、日本のサピオという雑誌の1月号を読んだら、ある優秀な教授が日本人はもっとけんか好きになるようにと勧めていた。これは私を少々悲しい気持ちにさせてしまった。生まれたのは大戦中だが幸運にも戦争自体は体験せず、大きな戦争がない時代に生きた私にとって、争いをそそのかす教授が存在することを読むのは、たいへん悲しいことなのである。こういう気持ちで飛翔するのはもちろん簡単なことではなく、少しばかり残った夢もきっと実現しないだろう。ローマでは新しい教皇が誕生した。教皇の能力というのは、語学の才能に依るところもあるのではないだろうか。民族間に平和をもたらすのに語学の才能はたいへんに重要である。平和はひとつの夢であるが、この夢を実現するのは語学を学ぶわれわれである。あなたは、語学の目的が、民族間の調和・平和を実現することであるという考えをもったことはないだろうか？ あなたは飛び続けたいだろうか？ それなら、語学の勉強、イタリア語の勉強をすることで、そういう考えをもって飛翔することが可能になる。好戦的な感情に囚われないようにすることができるのだ。

(訳 第25回1級合格 武田明子)

## 検定ニュース

### ◇2013年春第36回試験志願者数報告

(受験者数/志願者数)

	準2級	3級	4級	5級	合計
札幌	6/6	5/6	14/14	12/14	37/40
仙台	5/5	10/10	9/12	14/16	38/43
東京	113/120	186/211	260/303	161/199	720/833
横浜	23/23	35/37	49/57	22/28	129/145
金沢	3/3	2/3	5/7	1/1	11/14
名古屋	11/12	24/28	35/42	35/45	105/127
京都	21/25	32/35	36/45	29/32	118/137
大阪	31/32	51/59	68/78	60/65	210/234
岡山	6/6	8/8	10/11	7/8	31/33
広島	0/0	4/7	8/10	7/9	19/26
福岡	10/13	14/16	16/18	17/18	57/65
宮崎	1/1	1/1	2/2	1/1	5/5
那覇	0/0	1/2	0/1	0/1	1/4
ローマ	3/3	9/9	7/7	3/4	22/23
ミラノ	7/8	17/18	11/11	7/7	42/44
計	240/257	399/450	530/618	376/448	1545/1773

準2級の新設で昨年34回より志願者が12%増加しました！

- マークシートのマークの仕方
- 塗りつぶしても
- 枠をはっきり
- なぞるだけでも
- OKです。



## 第 36 回検定でのアンケートから

### 【HP 掲載内容の希望トップ5】

① イベント情報 ② 過去問・詳しい解説 ③ 勉強方法 ④ 出題内容・傾向・文法範囲 ⑤ 留学アドバイス・体験談・・・でした。

⇒①⑤は検定協会の HP「掲示板」をどしどしご利用いただき、情報を交換してください！②④は問題集を出版していますのでご利用ください。③および④の文法範囲については順次対応して参ります。

### 【希望参考書】

級別問題集(35%)・リスニング(30%)・作文(20%)・文法(15%)の順でした。

⇒級別問題集のご希望が多いのですが財政的な問題が壁です。二つの級ずついっしょになら 3 冊なので可能性があるかもしれませんが、今後の検討課題といたします。ウェブ上からの方法も検討したいと思います。また、他の参考書についてはホームページの参考書紹介欄に掲載してまいります。

⇒【協会から】協会の HP をみている人が少ないですね。書籍コーナーを見てない人 56%、掲示板を知らない人が 72% という集計が出ました。どうぞもっと見てくださいね!! [www.iken.gr.jp](http://www.iken.gr.jp)

### 【試験について】

地図がわかりにくい。(⇒次回改訂します)、結果を早く発表してほしい(⇒ホームページで発表しています)、携帯はマナーモードでもうるさい(⇒注意を徹底します)、履歴書に書いて効果は?(⇒かなり認知されてきています。求人条件となっているところも散見されますので、自信をもって資格の欄に記入してください)、教室が受験票と違っていた・机上札を貼るのが遅い・机がガタガタする・終了 5 分前の告知がなかった(⇒申し訳ございません、今後各地の運営担当者に徹底してまいります)

### 【その他アドバイスから】

問題集の正解を別ページにという指摘をいただきました。勉強している時、すぐそばに正解があるとちらちら見えてしまい、勉強の妨げになるというものです。2013 年度版より別のページにまとめるようにいたします。貴重なご意見をありがとうございました。



#### ☆ 受験体験記[1] イタリア語検定を受けて

私は'72年から'73年まで伊政府給費生としてミラノのヴェルディ音楽院に留学、その後ミラノを中心にイタリア国内を始めヨーロッパ各地で演奏活動をし、'94年に帰国しました。帰国して 20 年近くもたつと、よく知っている筈の言葉がすぐには出て来なくなることもしばしばで、いつも学生さん達には「歌詞がよく理解できるようにイタリア語を頑張らなさいね」などと言っている手前、自分がこれでは困る、と思いイタリア語を勉強し直すつもりで 2011 年に 2 級を、昨年は 1 級に挑戦しました。

さて、言葉はその国に長く住んだからといっても必ずしもその長さに比例して上達するものではないと思います。私の場合がまさにその通りで、最初こそ努力しましたが日常会話に不自由なくなってしまおうと、面倒臭さも手伝って敢えてそれ以上意識的に勉強はしませんでした。まして私は音楽の場で仕事をしていましたので、楽語は万国共通、当然語彙の幅も広がらないままでした。むしろ学生時代のほうがイタリア語に真剣に向き合っていたような気がします。生活しながら何となく a orecchio で覚えていった言葉というのは話す分には支障がありませんが、いざ書く、となると全く頼りないものです。住んでいた時のように周りの誰かに文章を直してもらおうこともできず、最近ではイタリアの友人たちとの短いメールのやり取りにも四苦八苦して、もどかしさを感じています。

受験の際は「イタリア語検定突破 2 級、3 級」を参考にしましたが、豊富な例文とともに間違いやすい箇所が丁寧に説明されており、とても役立ちました。しかし 1 級はさすがに難しく、筆記試験は合格はしたものの、基本的な文法力不足のため結果は今ひとつでした。口頭試験は和やかな雰囲気の中で、久しぶりに友人とおしゃべりをしていて楽しいひと時でした。また、試験官の先生から「話していることを時々書いてみるように」、との貴重なご助言を頂きました。確かに書いてみると間違いがよくわかります。

ミラノには 20 代から 40 代を一緒に活動した音楽仲間や家族のおつきあいをした友人たちがいます。近い将来時間の余裕がきたら、またゆっくり会いたいと思っています。その時、もっと自由にイタリア語を使いこなせるよう、これからは耳だけでなく手も動かしながら、勉強を続けたいと思います。

鹿島 恵子 (声楽家 活水女子大学音楽学部教授)

#### ☆ 受験体験記[2] 準 2 級を受けました。

1 年前に 3 級に合格してから、2 級は遠いなあ・・・とおもっていたところ、準 2 級が新設されたのを直前に知って、受けてみました。受験前に 2011 年の 2 級問題集をさっと見ただけで受験しましたが、レベル的にはこんな感じだな、と納得できました。3 級を合格した後、ちゃんと勉強を続けていたら、受かるレベルと実感しました。1 年間ゼロから集中的に勉強して 3 級に合格し、その後週 1-2 回語学学校に通っていましたが、自分としては、作文は簡単だったが、なれているつものアスコルトがむずかしかった。単語は大体わかったし、長文も大意はとれ思いました。準備学習不足のため考え込んでしまう問題も結構あったので、全体的にむずかしいと感じましたから、受かったかどうかは疑問です。3 級と 2 級の間のレベルができたのは、うれしかったです。

松本 葉名 (34 回 3 級合格)

#### < 2013 年度の試験日程 >

##### ◆ 第 37 回[2013 年秋季]実用イタリア語検定

一次試験実施日: 2013 年 10 月 6 日(日)

1~5 級の全級実施

申込受付期間:

2013 年 7 月 17 日(水)~8 月 17 日(土)

##### ◆ 第 38 回[2014 年春季]実用イタリア語検定

準 2,3,4,5 級の実施 2014 年 3 月 2 日(日)

#### ■ NPO 活動について ■

次のイベントはホームページでお知らせいたします。